

平成23年度（平成22年度対象）
内灘町教育委員会
点検・評価報告書

平成23年12月
内灘町教育委員会

平成20年4月から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）」の一部改正が施行され、各教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進と町民への説明責任を果たすため、法第27条の規定に基づき、平成22年度事務の管理及び執行状況について学識経験者の知見を受け、点検・評価を行ったものです。

内灘町教育委員会は、今後も町民の皆様が生涯にわたって学び続けるための教育環境の整備・充実を図ると共に、子どもたちに「生きる力」を育む教育の推進に努力してまいります。

平成23年12月

内灘町教育委員会

教育委員会委員名簿

職名	氏名
委員長	村田博子
委員長職務代理	田村兼人
委員	小島晶子
委員	菅原総子
教育長	西尾雄次

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I	はじめに	1
II	学校教育に関する点検・評価の結果	
	1. より良い学校づくりの推進	
	①教育環境の充実	2
	◆学校施設整備事業	
	◆教育情報化事業	
	◆学校給食管理事業	
	②幼保小連携の推進	3
	◆幼保小連携推進事業	
	③環境教育の推進	4
	◆エコスクール推進事業	
	④個性ある学校づくりの推進	4
	◆町教育推進事業	
	⑤学校評議員会の設置	5
	◆学校評議員会の設置	
	⑥危機管理体制の充実	5
	◆学校ネットシステム導入事業	
	2. 基礎学力の習得・充実	
	①学習マナーやルールの指導充実	6
	◆小学校1・2年生の30人学級	
	②英語教育の充実	6
	◆小学校英語教育推進事業	

③本に親しむ環境づくり	7
◆図書司書配置	
④障害のある児童に対する教育の充実	7
◆特別支援教育支援員の配置	
⑤教育相談体制の充実	8
◆適応指導教室運営事業	
◆心の教育相談員の配置	
⑥コミュニケーション力の育成	8
◆赤ちゃん登校日	
3. 就学前教育支援制度の充実	
①就園奨励費補助金・運営費補助の継続実施	9
◆私立幼稚園就園奨励費補助金	
◆私立幼稚園運営費補助金	
Ⅲ 社会教育・生涯学習に関する点検・評価の結果	
1. 社会教育の充実	
①青少年健全育成事業	10
◆豊かな心を育む内灘町民会議の設置	
◆子どもの権利条例検討委員会の開催	
◆青少年問題協議会の開催	
◆少年補導員会議の開催	
◆常勤補導員の町内巡回	
◆少年補導員の町内巡回	
②式典の開催	12
◆成人式	
◆立志式	
③交流事業の推進	12
◆世界の凧の祭典	
◆子ども凧遊び大会	
◆内灘砂丘フェスティバル	
◆町民夏まつり	
◆姉妹都市交流事業	

2. 生涯学習の振興	
①地区公民館事業	14
◆地区公民館補助事業	
◆地区公民館施設改修	
②学習機会の充実	15
◆主な社会教育関係団体への支援（補助金一覧）	
◆学びの風推進協議会	
◆高齢者学級	
◆陶芸教室	
◆働く女性の家事業	
◆国際交流事業	
③図書館	18
◆図書館事業	
④男女共同参画事業	18
◆男女共同参画事業	
3. 芸術文化の高揚	
①芸術文化の振興	19
◆アカシアロマンチック祭	
◆内灘町美術展・内灘町ジュニア美術展	
◆内灘町総合文化祭	
◆作品展	
◆内灘町文化会館事業	
②文化財の保護	21
◆指定文化財	
◆伝統文化・芸能の伝承	
4. 生涯スポーツの振興	
①地域スポーツの振興	22
◆スポーツ推進委員（旧体育指導委員）の設置、活動支援	
◆健康づくり、スポーツ教室の開催	
◆地域スポーツクラブの活動支援	
◆スポーツ大会の開催・支援	
◆スポーツ推進広報活動	

◆体育大会出場者激励	
◆スポーツ賞表彰	
②スポーツ施設の整備・充実	24
◆体育施設整備事業	
◆体育施設管理委託事業	
◆社会体育活動時の施設利用者数(22年度)	
◆体育施設使用料見直し検討委員会	
③スポーツ交流施設の整備・充実	25
◆サイクリングターミナルの管理運営	
IV 学識経験者の知見の活用	26
V その他資料	31
①教育委員会委員	
②教育委員会の組織	
③教育委員会活動の概要	
④教育委員会開催状況	
⑤平成22年度学級編成表	
⑥平成22年度生涯学習課事業一覧	

《平成22年度内灘町教育基本方針》

内灘町は、教育基本法の精神に基づき、それぞれの個性を認め合い公共の福祉を尊重するとともに、生涯を通じ真理を追究し平和を愛する心豊かな人間の育成と、郷土の歴史や自然に根ざした豊かな文化の創造を目指し、未来を切り拓く教育を進めるため基本方針を以下のとおり定める。

1. 豊かな心を育み、主体的に学び、たくましく生きる児童生徒の育成
2. 学校・家庭・地域が協力し合い、思いやりに満ちた教育力豊かな地域社会の創出
3. 潤いと生きがいに満ちた人生を過ごすための学習機会の充実と生涯スポーツの推進
4. ふるさとの歴史や伝統を愛し、豊かな地域文化の創造
5. 地域間交流や国際交流といった、豊かな体験を通じた活気に充ちたまちづくりの推進

I はじめに

1. 経緯

平成18年12月の教育基本法の改正及び平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。)が改正され、平成20年4月から施行された。

今般、地教行法の改正目的である「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして、同法第27条の規定に基づき、本年度から教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(以下「点検・評価」という。)を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられた。

2. 目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、すべての都道府県及び市町村が設置している行政委員会である。その役割は、専門的な行政官で構成される事務局を、様々な属性を持った複数の委員が合議により指揮監督し、中立的な意思決定を行うものとされている。

地教行法第27条の規定に基づき教育委員会が行う事務の点検・評価は、教育長以下の事務局を含む広い意味での教育に関する事務を管理及び点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としている。

3. 対象事業の考え方

平成22年度分の事業実績を対象とし、その対象範囲は、学校教育に関すること、社会教育に関することなど地教行法第23条で「教育委員会の職務権限」として規定されている事務をはじめ、町長の補助執行として行っている事務を含む、本委員会が所管するすべての事務とした。

事業のまとめ方については、第四次内灘町総合計画の基本計画に定める事業に基づき、教育委員会が行っている主な事業を選定した。

4. 学識経験者の知見の活用

地教行法第27条第2項の規定による有識者の知見の活用については、教育委員会事務局が行った事務の管理及び執行の状況について、選任した学識経験者から意見を聴いた。

II 学校教育に関する点検・評価の結果

◎ 平成22年度重点目標

- (1) 「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育の推進
- (2) ふるさとの自然を愛し、持続可能な発展のための環境教育の推進
- (3) 学校・家庭・地域・行政の連携による教育環境づくり
- (4) 国際化の進展に対応した小学校英語教育の充実

1. より良い学校づくりの推進

①教育環境の充実（平成22年度重点目標（3））

小中学校施設の改修や教育ICT環境の整備を行い、教育環境の充実を図る。

平成22年度の主な取組

◆学校施設整備事業(21,462,490円)

[主なもの]

・清湖小学校プール改修工事	5,124,000円
・教材備品購入/小学校指導用教材（国語・算数）	3,608,850円
・図書購入（小学校5校）	4,374,990円
・図書購入（中学校）	1,499,576円

◆教育情報化事業(49,006,650円)

児童のICT活用意欲の向上、教職員のICTスキル向上、さらにICTに関連した雇用機会の拡大を図るため、清湖小学校の教育ICT環境を整備する。

- ・校内無線LANの整備
- ・4～6年生の全児童にタブレットパソコンを配付
- ・4～6年生の各普通教室に電子黒板1台を設置
- ・ICT支援員1名の雇用

評価

総務省の「地域雇用創造ICT絆プロジェクト」交付金を活用し、清湖小学校のICT環境の整備充実を図ることが出来た。また、大根布小学校では、ICT利活用の実証研究として、全国10校で実施する「フューチャースクール推進事業」のモデル校に選ばれ、全児童がタブレットパソコンや全教室に配置した電子黒板を使いながら授業を行い、「協働教育」の実現に向け認識を深めることができた。

さらに、学校図書や新学習指導要領完全実施に向けて教材備品等の充実が図られた。

◆学校給食管理事業（223,983,541円）

- ・子どもたちの心と体を豊かに育むための食生活習慣の形成を基本に、学校給食を食に関する生きた教材として活用できるよう、栄養バランスのとれた給食提供を行う。
- ・職員及び調理員の安全衛生教育を行う。

（単位：円）

項目	給食実施食数	1食当り単価		賄材料費
平成22年度	2,802食/日	小学校 260円	中学校 305円	147,634,575円

評価

学校給食にあつては、施設の衛生管理を徹底し、児童生徒にバランスのとれた所定の栄養を確保した食事を提供している等、良好な給食運営を行っています。今後は、日常生活の食事に対する正しい食習慣を養うため、食の安全確保や、旬の地元食材の提供など「地産地消」などの取り組みが必要であると考えます。

②幼保小連携の推進（平成22年度重点目標（3））

幼児・児童に豊かな心と生きる力を育む。

平成22年度の主な取組

◆幼保小連携推進事業（249,546円）

未就学時から就学への円滑な引継ぎが行われるよう、幼稚園・保育所(園)と小学校が連携して、幼児と児童、保育士と教師、保護者の交流を通して相互理解を深め、幼児・児童に豊かな心と生きる力を育む。

- ・幼児と児童の交流活動、また様々な人との交流による体験活動を行った。
- ・保育士と教師の連絡会の開催、保育参観や授業参観を行った。
- ・教師、保育士、保護者を対象にした講演会や合同研修会の実施。

評価

幼児・児童それぞれの発達段階における理解が深まるとともに、保育・教育活動の充実や改善を図るための参考となった。

今後も、幼稚園・保育所(園)と小学校が連携した取組が必要であると考えます。

③環境教育の推進（平成22年度重点目標（2））

内灘町立学校のエコ活動の推進を図る。

平成22年度の主な取組

◆エコスクール推進事業（794,769円）

学校教育における環境教育を一層推進するため、昨年度に策定した「内灘町エコスクール推進計画」に基づき、町内すべての小・中学校でエコ活動に取り組む。

- ・環境フォーラム連携校の大根布小学校が、河北潟水質浄化研究の実践校として町民環境フォーラムで研究発表を行った。
- ・各学校での取り組みを互いに報告し交流を行うことで情報の共有が図られ、効果的なエコ活動に取り組めた。

評価

各小・中学校のエコ活動が認められ、町民環境フォーラムにおいてすべての小・中学校が「内灘町エコスクール」に認定された。

学校での環境教育を推進することでより身近なエコの取り組みを身につかせ、家庭でも実践し、地域にも浸透した取り組みになることが必要であると考えている。

④個性ある学校づくりの推進（平成22年度重点目標（1））

児童生徒へ芸術文化に親しむ支援、部活動等に対する支援をはじめ、様々な体験を通じ、自ら考え自ら学ぶ為の機会を与える。また、教職員の資質向上を図る為、各種検討委員会に対し支援を行う。

平成22年度の主な取組

◆町教育推進事業（14,975,350円）

（単位：円）

補助金名	金額
町学校教育研究会補助金	740,462
町校長会教頭会補助金	200,000
部活動奨励補助金	900,000
教育研究推進校補助金	779,950
児童生徒芸術文化振興補助金	638,697
生活指導奨励補助金	350,000
体育文化振興費補助金	2,000,000
大会出場補助金	6,017,474
地域と共に「わく・ワーク体験」事業補助金	239,998
体験学習推進事業補助金	1,336,000
エコスクール推進事業補助金	794,769
学力向上事業補助金	678,000
外国語活動実践研究事業補助金	300,000

評価

外国語活動は、教材の効果的な活用と評価の在り方等を研究する外国語活動実践研究事業により、外国語活動や他教科を通して伝え合おうとする児童の姿を育てることに役立った。また、地域と共に「わく・ワーク体験」事業では、学校・家庭・地域が一体となった職場体験を実施し、主体的に集団や社会の中で自分を活かそうとする態度や社会的視野を広げることに役立った。

教育研究推進校補助金によって校内研究の充実が図られ、また児童生徒芸術文化振興補助金によって演劇鑑賞やオーケストラアンサンブル鑑賞など質の高い芸術に触れる機会を提供しており、内灘町ならではの個性的な教育活動を展開している。さらには、大会出場費補助金や体育文化振興補助金によって多様な部活動への支援が行われ、たくましく豊かな心で主体的に生きる児童生徒の育成がなされている。

今後も、時代とともに変化する教育ニーズを的確に捉え、児童生徒の情緒面などの心の教育の活動に精力的な支援を行っていくことが必要であると考えます。

⑤学校評議員会の設置（平成22年度重点目標（3））

開かれた活力ある学校づくりの推進を図る。

平成22年度の主な取組

◆学校評議員会の設置（390,000円）

各小中学校において学校評議員会を設置し、学校長の求めに応じて学校経営等について協議し助言及び協力等の、支援を行った。

- ・学校長は、地域への情報公開、地域は学校長の求めに応じて学校への支援を行い、開かれた学校づくりを推進する。

評価

学校長は学校運営について説明を行い、評議員から幅広く意見を聞き、地域全体からの支援・協力を得てより一層地域に開かれた学校づくりが推進できた。

⑥危機管理体制の充実（平成22年度重点目標（3））

児童生徒の安全を確保するため、各種の安全施策を講じる。

平成22年度の主な取組

◆学校ネットシステム導入事業（1,222,200円）

学校・家庭・地域を結び、安心と安全を確保する学校ネットワークを構築する。不審者情報等の緊急情報を携帯電話へ一斉メール配信するなど、保護者や関係者にタイムリーな情報提供を行い、地域ぐるみで児童生徒を見守る。

評価

不審者情報等を適時に発信しており、保護者や地域で速やかに児童生徒への見守りができている。そういった取組みに対し保護者からも安心ができるとの好評を得ており、安全のネットワークが構築されている。今後も、地域全体で児童生徒の安全確保に努めて行くことが必要であると考える。

2. 基礎学力の習得・充実

①学習マナーやルールの指導充実（平成22年度重点目標（1））

生活習慣や学習の基礎基本をしっかりと身につけさせる。

平成22年度の主な取組

◆小学校1・2年生の30人学級（6,268,800円）

- ・文部科学省基準：1学級40人以下
- ・石川県の取組み：小学校1・2年生の35人学級の教員配置
- ・内灘町の取組み：小学校1・2年生の30人以下の学級編成

〈町費負担講師の配置〉

鶴ヶ丘小学校1年 62名 標準学級数 2クラス → 3クラス（町費負担講師 1名配置）

大根布小学校1年 98名 標準学級数 3クラス → 4クラス（町費負担講師 1名配置）

評価

小学校生活の始期である1・2年生一人一人にきめ細やかな指導を行うため、30人以下で学級編成を行っている。少人数指導を行うことで、早い時期に学校になじみ、生活習慣や学習の基礎基本をしっかりと身につけさせることができた。

保護者からも、評価を得ており、今後もきめ細やかな指導を行って行く必要があると考える。

②英語教育の充実（平成22年度重点目標（4））

国際化の進展による外国語、とりわけ英語の語学力の必要性が高くなっており、より早い段階から英語に慣れさせるため、小学校からの英語教育を実施する。

平成22年度の主な取組

◆小学校英語教育推進事業（9,197,479円）

平成19年度から実施。

〈英語活動〉 小学校1、2年生 年間 10時間

小学校3～6年生 年間 35時間

〈講師の配置〉 外国語指導助手(ALT・日本人各1名)2名

英語講師(日本人2名・外国人1名)3名

評価

子どもたちは、ALTや英語講師などの外国人に対してもできる範囲で積極的に英語を話せるようになった。また、T・T（ティームティーチング）による指導で担任教諭も英語教育に積極的に取り組んでいた。今後も、子どもたちが英語に慣れ親しむことができる、無理のない指導を行い、さらに英語教育を充実させていきたい。

③本に親しむ環境づくり

学校図書室に図書司書を配置する。

平成22年度の主な取組

◆図書司書配置（4,796,325円）

素晴らしい本との出会いにより、子どもたちは言葉を学び、表現力を高め、創造力を豊かにし、そして感性を磨いていくことができます。子どもたちの健全な心を育むため、学校図書室に図書司書を配置し、いつでも本に親しめる環境づくりの推進を図る。

小学校・4名、中学校・1名 配置

学校図書館貸出状況

（単位：冊/人・年）

平均貸出冊数	平成20年度	平成21年度	平成22年度
小学校	43.6	52.5	57.0
中学校	8.4	9.4	12.3

評価

図書司書の配置後は、学校図書室を利用する児童生徒が増えるとともに、一人当たりの読書冊数が増加した。今後も「子どもが本に親しむ環境づくり」を支援できるように取り組む必要があると考える。

④障害のある児童に対する教育の充実

特別支援学級や、通常学級の障害のある児童生徒を支援するため、町採用の支援員を配置する。

平成22年度の主な取組

◆特別支援教育支援員の配置（11,397,825円）

小学校 10名

中学校 1名

評価

近年、小学校や中学校の通常学級において、軽度発達障害や注意欠陥多動性障害などで、学習や行動面で支援を必要としている児童生徒が増えてきている。町採用の支援員を学校に配置することで、個々のケースに応じた支援を行い、クラス全体が落ち着いた環境の中で授業に取り組むことができるようになった。今後も引き続き、支援を要する児童生徒への支援を行って行くことが必要であると考えている。

⑤教育相談体制の充実

心のケアを必要とする子や不登校の児童生徒に対しての、相談支援体制の充実を図る。

平成22年度の主な取組

◆適応指導教室運営事業 (2,923,790円)

不登校の児童生徒に対して、町教育センター内で弾力的な指導を行い、一人一人に対しきめ細やかな指導により学校復帰を支援する。また、心のケアを要する児童生徒やその保護者にスクールカウンセラーがカウンセリングを行う。

項 目		平成22年度
教育相談状況	ステップ通室生人数	6
	来所相談件数	125
	出張相談件数	13
	電話相談件数	25

◆心の教育相談員の配置 (3,356,192円)

保健室登校等、教室に入れない生徒の相談にのり、一人ひとりに対しよりきめ細やかな支援体制をとり、いずれは教室に戻ることが出来るよう教育相談室（エール）で支援を行う。

- ・心の教育相談員 3名配置（20年度より2名増）

評価

学校に行けない児童生徒に個々の状況に応じた弾力的な指導を行い、集団に適應できるよう支援している。また、県内一のマンモス校の内灘中学校では、不安や問題を抱えた生徒が少なからずいると思われ、そうした生徒の相談や心のケアを行い、すべての子どもたちに教育の機会が確保されるよう、今後も支援を続けて行くことが必要であるとする。

⑥コミュニケーション力の育成

小学生が赤ちゃんとふれあう「赤ちゃん登校日」を実施する。

平成22年度の主な取組

◆赤ちゃん登校日 (55,560円)

西荒屋小学校5年生が赤ちゃんと赤ちゃんのお母さん・お父さんと実際に関わり、人間関係を学ぶ公開授業を開催した。

評価

小学生の子ども達が赤ちゃんと積極的に関わる体験を通して、人との関わりや思いやりの心を学ぶことができた。

3. 就学前教育支援制度の充実

①就園奨励費補助金・運営費補助の継続実施

幼児教育の充実を図るため、幼稚園の保護者や園に対し補助する。

平成22年度の主な取組

◆私立幼稚園就園奨励費補助金（14,967,800円）

町内に在住で、私立幼稚園に通園させている保護者で、一定の所得基準以下の保護者の負担を軽減するため、幼稚園を通じて、保育料・入園料の一部を補助する。

(単位：人・円)

項 目		平成22年度	
対象園児	町 内	1 園	111
	町 外	9 園	49
	計	10 園	160
補助金額		14,967,800	

◆私立幼稚園運営費補助金（1,635,000円）

町内の私立幼稚園の運営を補助する。

- ・ 1園につき 1,000,000円
- ・ 園児1人につき 5,000円

※ 平成22年度 1園、127人

評価

世帯の所得状況に応じて保護者の経済的負担の軽減を図るため就園奨励費の補助を行ったほか、町内の私立幼稚園が健全に園を運営できるよう運営費の補助を実施するなど、幼稚園教育の振興に寄与している。

今後とも、園の経営状況を見据え支援を行っていくことが必要であると考えている。

Ⅲ 社会教育・生涯学習に関する点検・評価の結果

◎平成22年度重点目標

- (1) 家庭・地域・学校等の連携で人と人との「絆づくり」の推進
- (2) 生涯スポーツと健康づくり事業の推進
- (3) 町民の参画と行政との協働による事業の充実
- (4) 生涯学習のネットワークを生かした町民の学習機会の充実

1. 社会教育の充実

①青少年健全育成事業（平成22年度重点目標(1)）

子どもたちの「豊かな心を育む」教育を、内灘町の特徴や地域性を生かし、学校・家庭・地域社会が一体となり、地域の教育力の活性化を通じ、総合的な推進を図る。また、すべての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、人権問題に対する理解と認識を深めるようにする。

平成22年度の主な取組

◆豊かな心を育む内灘町民会議の設置

豊かな心を育む内灘町民会議			
代表者会(各委員長・副委員長)			
人権教育推進委員会	体験学習推進委員会	学校家庭支援委員会	情報通信教育委員会

【代表者会】(委員10名、2回)

- ◎町民会議全体に関わる事項の審議、4専門委員会の連携、情報交換
- 全体事業…グッドマナーキャンペーン、事業収録冊子の全戸配布

・人権教育推進事業

【人権教育推進委員会】(委員8名、年3回)

- ◎障害者・高齢者との交流活動、人権問題に関する学習機会の提供
 - 講習会・講演会…障害者の人権講話
 - 交流教室・体験教室…手話体験教室、視覚障害者との交流教室、点字体験教室、親子の手紙、絵手紙づくり交流教室「障害者との交流」
 - CAPセミナー「子どもへの暴力防止」

・体験学習推進事業

【体験学習推進委員会】(委員8名、3回)

- ◎自然体験、親子共同体験事業
 - 内灘夢教室…ビニール水田、砂丘の植物、キス釣り、星の観察、昆虫観察、民話や伝説、環境・白鳥・野鳥観察
 - 環境工作教室…おもしろ工作、子ども模型飛行機教室、風船アート、水辺の生物、竹害・風力・ソーラーカー(石川高专連携)

○親子体験教室 …親子凧作り教室、親子パソコン教室、親子和太鼓教室、親子料理教室、親子茶道教室、親子人形劇鑑賞会、日本舞踊こども教室

・学校家庭支援事業

【学校家庭支援委員会】(委員8名、3回)

◎地域から学校への支援事業、家庭教育講座の開催

○学校支援事業 …日本文化体験教室、リサイクル工作教室、紙芝居教室、文化祭体験教室、読み聞かせ教室、喫煙防止教室、環境学習教室、昆虫学習教室、邦楽体験教室、水泳教室、昔の内灘、外国の生活、人間関係づくり

○家庭教育事業 …家庭教育講座、子育て講演会、昔あそび体験

・情報通信教育事業

【情報通信教育委員会】(委員10名、年4回)

◎情報化社会の利便性と危険性を学習する機会を小中学生や保護者に提供

○情報通信教育 …小学校2校で講座を開催、広報による啓発(年2回)

◆子どもの権利条例検討委員会の開催 (委員10名 平成22年中5回開催)

子どもの健やかな成長を願い、すべての子どもが幸福に暮らせる町づくりを進めることを目的とし条例案を審議

◆青少年問題協議会の開催 (年1回)

◆少年補導員会議の開催 (年3回)

◆常勤補導員の町内巡回 (月～金曜日午後2時から6時)

◆少年補導員の町内巡回 (毎月第2・4土曜日)

評価

豊かな心を育む町民会議の各種事業を通して、子どもたちが人間として調和のとれた成長を遂げることができる環境について、共通理解を図っている素晴らしい事業である。

昨年度より新たに設置した「情報通信教育委員会」では、アンケート調査の結果を元に、携帯電話の危険性を学習する講座や正しい携帯電話とのつきあい方を学ぶ講座を実施した。また、安易に携帯電話を所持しない・所持させない判断力を養うための手段として、内灘町の現状の報告と注意喚起という内容で広報による啓発を行った。現在、4委員会(人権・体験・学校家庭支援・情報通信)による事業を引き続き推進している。

子どもの権利条例検討委員会においては、子ども達の基本的人権の保護と人間としての尊厳が守られることを願い、国連において採択された「児童の権利に関する条約」を日本が批准したことを受け、子どもの権利や保障のあり方、施策の進め方を定めるものとしてこの条例策定に取組まれてきたものです。本町においても、その理念に基づき内灘らしい条例案の策定をお願いしたい。

②式典の開催

大人、社会人としての識見と法の遵守を自覚する契機及び健全な青年として生きるべく、将来への励みを与える機会として成人式を開催する。また、14歳の少年、少女が自ら将来の志を立て、次代を担う者としての自覚と健康な心身をつくることを目標に、祝い励ます機会として立志式を開催する。

平成22年度の主な取組

◆成人式 (813,671円)

平成23年1月9日(日)午前10時～

会場:内灘町文化会館

参加対象者数312名 参加者数249名 参加率79.8%

◆立志式 (95,000円)

平成23年2月1日(火)午後1時30分～

会場:内灘町文化会館

参加対象者数 内灘中学校2年生298名

評価

成人式においては、新成人の中から式典委員(6人)を選考し、第1部式典、第2部アトラクションの進行を自主的に執り行っている。成人式で内灘町の成人者が会場に一堂に集い交流を深めることで、将来の励みの機会となっており、一層多くの参加を望むものである。

立志式においては、人生に目標を持ち、それに向って精進することの大切さを、一人ひとりが自覚するとともに、将来の夢、希望を記念文集として作成していた。

これらは共に人生の節目の式であり、成長のための儀式としての役割を果たすと共に、これまでの自らの歩みを振り返り、今後の方向を見据える大切な機会となっている。今後も工夫を重ね継続していく必要があると考える。

③交流事業の推進 (平成22年度重点目標(3))

各種イベントを通して、地域間交流・世代間交流・国際交流を推進し、互いの親睦を図る。

平成22年度の主な取組

◆世界の凧の祭典 (7,000,000円)

「第22回 内灘町世界の凧の祭典」

- ・第22回日本海凧揚げ大会
- ・第32回日本の凧の会国際凧揚げ大会
- ・第19回スポーツカイト日本海チャレンジ

5月3日(月・祝)子ども凧コンテスト、スポーツカイト競技

5月4日(火・祝)凧揚げ大会

項目	平成22年度
海外招待者	10名
町外参加者	364名
町内参加者	1,361名
町補助金	7,000,000円

◆子ども凧遊び大会 (720,000円)

「第15回 内灘町子ども凧遊び大会」

平成22年10月9日(土)

会場:内灘町総合体育館(雨天の為)

- ・凧揚げ
- ・竹とんぼ大会

項目	平成22年度
テーマ凧	寅の凧
大会参加者	46名
町補助金	720,000円

◆内灘砂丘フェスティバル (1,000,000円)

平成22年12月12日(日)

会場:内灘町文化会館 大ホール

第1部 江戸家猫八独演会

～野鳥の宝庫、河北潟のセンスオブワンダー～

第2部 江戸家猫八氏、秋山稔氏、萩原なつ子氏によるトークと朗読

～泉鏡花『湖のほとり』から河北潟を語る～

第3部 オーケストラアンサンブル金沢、江戸家猫八氏(特別出演)、内灘中学校吹奏楽部によるコンサート

項目	平成22年度
入場協力者数	1,057名
町補助金	1,000,000円

◆町民夏まつり (5,500,000円)

「第34回内灘町民夏まつり」

平成22年7月24日(土)

場所 内灘町総合グラウンド

○総合グラウンド

保育園児納涼盆おどり

各種イベント(バトントワリング、ダンス、フラダンス)

はまなす歌謡祭2部(伊藤咲子、HAYABUSA、一川明宏、相川美保)

おどりの夕べ

花火の祭典

項目	平成22年度
入場者数 (総合グラウンドのみ)	15,000人
町補助金	5,500,000円

◆姉妹都市交流事業(415,979円)

平成22年7月31日(土)～8月3日(火)

北海道羽幌町より和太鼓の交流団の訪問を受け入れる。(大人14名、子ども10名)

- ・羽幌オロロン太鼓ジュニアの会、内灘町和太鼓協会「静胡」「胡粹」による合同演奏会。
- ・内灘町、金沢市視察研修

評価

世界の凧の祭典は、生涯学習の場としてコミュニティ醸成を主目的として実施している。町内参加地区においては、地域づくりのための実践活動の場として、また金沢市など町外の交流地区との地域間交流の場としても活用されている。また、内灘砂丘という地理的条件のもと内灘町でしかできないイベントであり、町民が町の自然財産に関心と誇りを持つとともに、凧揚げを通して町の魅力発進が図られた。

子ども凧遊び大会においては、小学生以下の子どもたちが参加し、大会を通じて多くの子どもたちがふれあいを深めるとともに、物づくりをする楽しさを感じ、親子の一層の絆を深める機会となった。

内灘砂丘フェスティバルにおいては、町民主導のイベントとして定着したと思われる。今回は、泉鏡花の「湖のほとり」を軸に、泉鏡花と河北瀧の関わりを学ぶことができた。また、河北瀧の浮島現象「蛇持」を取り上げる等事前勉強会を開催することで、より河北瀧への理解を深めることができた。今後はこの事業の掲げる3つの理念を心に事業を継続するよう期待する。

町民夏まつりにおいては、はまなす歌謡祭、おどりの夕べ、花火の祭典等を開催し、総合グラウンドは約15,000人の入場者で賑わい、町民相互の親睦交流が図られた。特に、アトラクションやはまなす歌謡祭において、多くの地元出身者が出演し地域密着型イベントとして定着している。

これらの各事業は、町を象徴する事業であり、町民との協働により行われているが、今後も町民主導の事業展開を図る必要がある。

2. 生涯学習の推進

①地区公民館事業（平成22年度重点目標(3)）

地域住民の様々な学習機会の提供を支援し、地区公民館活動の充実を図る。また、地区公民館の保全と環境整備を図る。

平成22年度の主な取組

◆地区公民館補助事業（10,943,000円）

・一般管理運営費(17公民館)	8,903,000 円
・各種事業補助金(17公民館)	1,020,000 円
・通信補助金(17公民館)	1,020,000 円

◆地区公民館施設改修（5,577,495円）

・地区公民館修繕	5,577,495 円
----------	-------------

評価

自治公民館として、地域住民が集い、学ぶ場として町内全ての地区に公民館が設置され地域づくりの拠点としての機能を大きく果たしてきた。近年の少子高齢化等により希薄となってきた地域の繋がりを再構築する必要として公民館の役割は大きいと考えている。また、災害時における避難所にも指定されているので、早急に公民館の耐震化を含めた改修工事を計画的に実施していく必要があると考えている。

②学習機会の充実（平成22年度重点目標(4)）

生涯学習推進基本構想「学びの風 ビジョン21」に基づいて、一人一人の町民が生きる喜びと、明るく心豊かな地域社会の創造をめざし、町民の生涯学習を支援する。

平成22年度の主な取組

◆主な社会教育関係団体への支援(補助金一覧)

(単位:円)

補助金名	金額
子ども会連絡協議会活動補助金	400,000
壮年会協議会活動補助金	110,000
文化協会活動補助金	1,500,000
PTA連合会活動補助金	200,000
女性団体連絡協議会活動補助金	80,000
連合女性会活動補助金	750,000

◆学びの風推進協議会（年4回）

生涯学習推進基本構想を具現するための方策、また生涯学習関連各種施策を協議し推進する。

・子どもが本に親しむ環境づくりの一環として「子ども読書感想文コンクール」の実施。

（応募者 2, 184人）

◆高齢者学級

高齢者学級「はまなす大学」を開催し、高齢者の生涯学習を推進する。

・期間:平成22年5月から平成23年3月まで

・回数:15回・参加人数:延べ2,007名

◆陶芸教室

手づくり法による日本陶芸について、本焼きまでの過程を実習し、焼物の歴史も学ぶ。

・期間:平成22年4月～23年3月 毎週水曜日

・回数:46回

・参加人数:延べ1,440人

◆働く女性の家事業

働く女性等に対して、各種講座・実習等を実施し、日常生活を支援することを目的とする。

(単位:回、人)

働く女性の家主催事業			働く女性の家自主グループ		
講座名	回数	参加人数	サークル名	回数	参加人数
ストレッチヨガ(前期)	10	153	ヨガ(夜)	42	839
ストレッチヨガ(後期)	10	207	アートフラワー	20	70
癒しのフラワー	7	56	太極拳	42	279
シェイプアップ	4	60	エイジレス体操	39	494
お正月クラフト	1	9	パッチワーク	22	147
だいこん寿司(午前の部)	2	30	ヨガ(昼)	32	745
だいこん寿司(夜の部)	2	15	華道	49	315
女性の健康について	1	15	籐	18	116
			ペン習字	24	217
			3B体操	44	478
総 数	37	545	総 数	332	3,700

◆国際交流事業

国際交流員とSwitchうちなだ(ボランティア)が中心となり、町民と外国人の交流を企画し実施する。

・JAPAN TENT

平成22年8月22日(日)～8月25日(水)

留学生 16名、受入家庭 10家庭

内灘の文化・歴史を紹介しながら、町を理解し、ホストファミリーとの交流を深めた。

・国際交流サロン

開催回数:4回、参加者:延べ100人

地域の外国人と町民との交流の場を提供して、相互の理解を深めた。

・英会話教室

開催回数:初級、中級 42回

参加者:延べ630人

町民に対し、外国の文化を紹介及び英会話教室を実施した。

外国語に親しむ為、外国語スピーチの場とヒアリングの機会を与えた。

・スピーチフェスティバル

平成23年1月29日(土)

発表者:小学生57名、中学生3名、高校生10名、外国人(日本語部門)3名、一般・オープン英語1名

・学校訪問

小学校 延べ47回

学校と打ち合わせをしながら、児童と交流し国際理解を推進した。

評価

学びの風推進協議会においては、町民主体の、時代のニーズに則した生涯学習の振興に関しての施策について協議を行っており、提言に基づいた施策の展開を図ってきている。

高齢者学級「はまなす大学」においては、高齢者の健康で生きがいある生活のための各種講座を実施し、今後高齢社会を迎えるに当たり重要な事業であると考えます。

陶芸教室においては、陶芸を通して生涯学習の推進を図っており、多くの人が陶芸に親しむ機会となっている。

働く女性の家事業においては、多種多様な講座により広く女性の生涯学習の推進に寄与した。

国際交流事業においては、町民が気軽に参加し関心がもてる企画をボランティアと共に考え、PRしたことによって、多くの町民がイベントに参加し、交流や相互理解を深めることができた。

これらの事業は、多くの町民の参画により行われており、今後の高齢化、国際化、情報化などの動きに沿った町民のニーズを把握し、生涯学習の振興に取り組む必要がある。

③図書館（平成22年度重点目標(4)）

町民の図書その他資料に対する要求に応え、時代に適応した豊富な各種図書資料の収集と情報整備を図り、町民の文化・教養・調査に資する。

平成22年度の主な取組							
◆図書館事業 (単位:冊)							
内訳	21年度末 蔵書数	受入冊数			除籍冊数	22年度末 蔵書数	22年度 貸出冊数
		購入	寄贈	計			
一般書	72,406	2,961	18	2,979	2,332	73,053	110,084
児童書	30,473	1,008	58	1,066	94	31,445	49,536
郷土資料	6,052	59	122	181	14	6,219	1,187
視聴覚資料	2,129	71	15	86	18	2,197	2,956
計	111,060	4,099	213	4,312	2,458	112,914	163,763

評価

図書館は、町民自らの学びの場として、生涯学習の中心的役割を担う施設である。本館の蔵書数は11万2千冊であり、保管スペースは既に飽和状態となっている。また貸出し冊数は約16万冊を超えており、現状の職員数では健全な管理や事業運営に支障の生じる事が懸念される状況にある。

今後とも蔵書の蓄積に努め、サービスの向上を図り、読書活動の推進における保育所や小中学校、読書会やボランティア団体等との連携・協力を図っていくことが大切であると考えている。

④男女共同参画事業（平成22年度重点目標(3)）

男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画行動計画の推進状況調査及び啓発事業を実施する。

平成22年度の主な取組

◆男女共同参画事業

・男女共同参画推進委員会

男女共同参画行動計画の進捗状況審査、意見聴取

・啓発事業

エンパワーメント講座 2回

講演、講座等 2回(ふらっとセミナー、女性の健康講座)

総合文化祭でのパネル展示とアンケートの実施

日本女性会議への派遣 公募町民2名参加

・うちなだ参画グループによる紙芝居 2回(ふらっとセミナー、地区公民館文化祭)

評価

講演会や地区公民館文化祭において県推進員を含む参画グループによる紙芝居の披露をする等、町民へ男女共同参画について考えるきっかけとなった。今後も、講演会・講座を通して男女共同参画事業の啓発を進めていく必要がある。

3. 芸術文化の高揚

①芸術文化の振興（平成22年度重点目標(3)）

日常生活の中で文化に親しみ、芸術文化を行えるよう拠点となる施設の拡充を推進するとともに、活動や発表の場の確保、優れた芸術・文化作品に親しむ機会の確保に努める。

平成 22 年度の主な取組

◆アカシアロマンチック祭

平成22年5月16日(日)

会場: 林帯遊歩道及びハマナス恐竜公園

参加団体数: 35 団体(各単位協会及び各種団体等)。

◆内灘町美術展・内灘町ジュニア美術展

平成22年11月6日(土)～12日(金)

会場: 内灘町庁舎町民ホール及びギャラリー

出展作品数: 美術展 84 点、ジュニア美術展 1,886 点、 来場者数: 3,000 人

美術展では、書・絵画・工芸・写真の4科で力作が出品された。ジュニア美術展では、書・絵画の2科で数多くの作品が出品された。

◆内灘町総合文化祭

平成22年11月6日(土)～7日(日)、14日(日)

会場: 内灘町文化会館及び地区公民館

参加団体数: 29 団体(各単位協会及び各種団体等)、延べ参加人数: 2,000 人

芸能発表、かるた大会、将棋大会、囲碁大会、金沢市との公民館文化交流(諸江公民館・俵公民館)などを開催した。

◆作品展

平成 23 年 2 月 19 日(土)～20 日(日)

金沢市公民館連合会創立 60 周年記念事業として「第 48 回金沢市公民館大会」において金沢市の公民館との作品交流展(金沢: 松寺、押野、大徳、崎浦 内灘: 女性の家、緑台、千鳥台、大根布、アカシア)

◆内灘町文化会館事業

平成 22 年度内灘町文化会館利用状況

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1F	2	4	11	12	7	9	6	4	3	7	2	0	67
大ホール	820	800	4,460	1,710	1,880	3,140	300	780	780	1,990	1,530	0	18,190
1F	2	2	9	7	15	3	2	4	3	6	5	4	62
講義室	40	15	90	115	80	70	30	50	45	80	50	45	710
1F	9	11	9	11	7	6	6	7	5	7	9	10	97
和室、茶室	110	140	155	585	150	95	65	90	90	115	100	150	1,845
2F	20	14	13	17	12	9	13	10	14	17	19	24	182
会議室	230	175	245	715	150	190	355	175	275	330	400	475	3,715
2F	2	6	11	5	0	5	11	6	4	7	17	14	88
集会展示室	20	150	180	615	0	270	360	170	160	235	310	330	2,800
3F	2	2	11	9	9	6	6	4	8	8	6	7	78
視聴覚室	120	140	2,425	465	730	630	1,705	260	725	650	650	290	8,790
合計	37	39	64	61	50	38	44	35	37	52	58	59	574
	1,340	1,420	7,555	4,205	2,990	4,395	2,815	1,525	2,075	3,400	3,040	1,290	36,050

(上段:回数、下段:人数)

評価

アカシアロマンチック祭は、アカシアの花薫る5月の林帯遊歩道を舞台に、町民と文化協会員によって開催される芸術文化の祭典である。これは、内灘町の持つ自然財産であるアカシア林と、文化協会員の提供する文化活動が融合したユニークな祭りであり、内灘町が他に誇りうる文化事業である。

美術展・ジュニア美術展は、子どもから大人までの幅広い層による、町最大の美術展であり、町民が芸術・文化に親しむ貴重な機会となっている。

総合文化祭では、町文化協会加盟団体による芸能発表や各種大会が行われ、近年は金沢市との文化交流もあり、展覧会等、発表機会の拡充に加えて、地域間交流の推進にも寄与している。

これら各事業は、町民主導の事業であり、今後も支援していく必要があると考えている。

内灘町文化会館は、芸術文化活動の拠点として多くの人が集い利用する施設であり、今後も適正な維持管理を図っていく必要がある。

②文化財の保護

町内の有形・無形の文化財を貴重な文化遺産として継承するため、重要な文化財については指定等の保護措置を講ずるとともに、それを保存するための施設を拡充し、広く町民に公開する。

平成22年度の主な取組

◆指定文化財

種別	名称	場所	指定年月日
建造物	小濱神社・本殿	大根布3丁目157	昭和53年11月1日
書跡	村御印	内灘町歴史民俗資料館蔵	昭和58年7月1日
考古	把手付鉢	内灘町歴史民俗資料館蔵 (齋藤家寄託)	昭和47年8月17日
史跡	小濱神社・社趾	宮坂(権現森海岸)	昭和47年8月17日
史跡	室青塚	西荒屋への部61	昭和61年10月1日
古文書	木谷藤右衛門家関係資料	内灘町歴史民俗資料館蔵	平成12年9月22日
天然記念物	シロチドリ	内灘町海岸線一帯	昭和47年8月17日
天然記念物	イカリモンハンミョウ	内灘町海岸線一帯	昭和47年8月17日
天然記念物	権現森ハマナス・イソシ群生地	宮坂(権現森海岸)	昭和47年8月17日

◆伝統文化・芸能の伝承

・歴史民俗資料館を町直営とし、館内の展示内容を充実させた。

・無形文化財保存育成補助金・大根布奴行列(81,000円)

・民俗文化保存育成補助金・向栗崎悪魔祓い(81,000円)

内灘町に古くから伝わる伝統芸能について、補助金を交付し保存育成に努めた。

評価

郷土に根ざした文化財は、先人たちが残してくれた価値あるものとして後世に継承していく必要がある。内灘町には、指定文化財として天然記念物をはじめ9件の指定があり、特に自然環境の影響を受ける動植物が海岸線付近に生息している。砂浜の侵食や自動車の乗り入れによる環境破壊が懸念され、今後は砂丘に位置する海岸動植物保護地区の保存管理の強化が必要と考えている。

また、平成22年度より歴史民俗資料館の展示内容・教育施設としての充実をはかるため町直営とした。ボランティアグループの育成を図るため、受付案内業務を砂丘ボランティアへ委託することにより協働のまちづくりへの推進が図られた。

4. 生涯スポーツの振興

全ての町民が生涯にわたり、自らスポーツに親しみ、スポーツを通じて、健康で豊かな生活を送ることができるよう、多様なスポーツ機会の確保に努め、指導者の育成を支援し、スポーツ施設を整備する。

①地域スポーツの振興

町民が身近にスポーツに親しむことができるよう、各地区にスポーツ推進委員(旧体育指導委員)を設置し、各種教室や大会等のスポーツ行事の実施に努めるとともに、町民が主体的に運営する地域スポーツ団体(地域スポーツクラブ)の活動を支援し、スポーツ大会への参加を奨励する。

平成 22 年度の主な取組

◆スポーツ推進委員(旧体育指導委員)の設置、活動支援

スポーツの推進事業の実施に係る連絡調整、スポーツの実技の指導、助言を行う

*平成 23 年 8 月 24 日施行のスポーツ基本法に基づき「スポーツ推進委員」という名称に変更

・スポーツイベントへの協力、指導、地域でのニュースポーツの普及活動

・チビっ子スポーツ教室 小学1～6年生対象スポーツ体験、レクリエーション活動 13 回 実 39 人延 507 人

◆健康づくり、スポーツ教室の開催

・高齢者スポーツ教室 165 回 延べ 7,316 人

・一般スポーツ教室 101 回 延べ 1,688 人

・健康煌き熟年大学事業「ウエルネスセミナー」 10 回 延べ 1,688 人

・体力測定 71 人

◆地域スポーツクラブの活動支援

・総合型地域スポーツクラブ プラッツうちなだ の活動 活動補助金 135万円

22 年度 会員総数 2018 名(一般 752 名・ジュニア 818 名・シニア 448 名) 加入団体数 88

各種スポーツ教室、セミナー開催 230 回 参加 1,898 人

レクリエーション、スポーツイベント開催 6 回 参加 336 人

・内灘町体育協会の活動 単位協会 26 団体 体育協会活動補助金 135万円

総合体育大会 主管、社会体育推進会議開催、県体への選手派遣、ニュースポーツ体験交流会

*3/20 開催を予定していた長距離継走大会は、東日本大震災直後のため、自粛(中止)した

広報誌「うちなだ体協」発行年 2 回

・スポーツ少年団の活動 単位団 22 団体 活動補助金 110万円

合同開講式、交流会、リーダー研修会

◆スポーツ大会の開催・支援

・スポーツ大会の開催

第56回町民体育祭 17公民館対抗 参加 3,000人

第27回内灘町総合体育大会 19競技 参加 1,000人

内灘サイクルフェスティバル 親子サイクリング等 参加 70人

・スポーツ大会の開催支援 8大会

アカシアジョキング大会、加賀地区少年柔道大会、内灘サイクルロードレース大会、
YOSAKOIソーラン日本海、学童野球新人大会、石川縣市町対抗ふるさと駅伝、長距離継走大会

・関係スポーツ大会への選手派遣

第61回石川県民体育大会(冬季スキー競技含む)小松市主会場 29競技種目 564人参加

男子総合の部 第10位 女子総合の部 第11位

他、国民体育大会、北信越国民体育大会等 11大会

◆スポーツ推進広報活動

広報うちなだスポーツガイド適宜、スポーツ少年団員募集案内 年1回、体育協会広報誌 年2回
総合型地域スポーツクラブ広報誌 年2回

◆体育大会出場者激励

石川県民体育大会、及び国際大会、全国大会に出場する選手に、激励金を給付し激励する。

・石川県民体育大会出場者激励 実564人、延べ615人

・全国大会出場者激励 小年 実32人、延べ49人(うち国際大会出場 2人)

成人 実 5人、延べ5人

◆スポーツ賞表彰

優秀な成績をおさめられた選手、団体及び体育振興に功労のあった方にスポーツ賞を贈り表彰する
表彰式 11月3日 文化会館

・体育功労賞 1名

・国際スポーツ賞 2名

・スポーツ賞 16名 及び 2競技団体

・スポーツ奨励賞 82名 及び 10競技団体

評価

町民がより身近に、より自立的、主体的にスポーツに親しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブ「プラッツうちなだ」が平成17年に設立され、6年が経過した。

現在の町の地域スポーツ振興施策は、このプラッツを核に、体育協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員が連携を図り、スポーツ・レクリエーション活動の機会提供をする体制がとられている。

多様なスポーツ教室、スポーツ大会が実施されているが、行政主導で開始したスポーツ教室の自主運営化は難しく、スポーツ団体の運営は行政に依存的となっているのが現状である。

また、「プラッツうちなだ」の会員数は横ばいで、スポーツ人口の掘り起こしにはいたっていない。

今後は、平成23年6月公布のスポーツ基本計画を参酌した町のスポーツ推進計画を定め、現行の事業及び地域スポーツ団体を再編成、事業の協働実施により、町民のスポーツ機会の拡大、スポーツ人口の増加を図る必要がある。

町は、総合型スポーツクラブ、体育協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員等が、より自立的、主体的な運営、活動展開ができるよう支援し、体育施設の指定管理者の自主事業とも連携して、より一層多様なスポーツ・レクリエーション行事の機会の確保、奨励に努めていきたい。

②スポーツ施設の整備・充実（平成22年度重点目標(2)）

スポーツ人口の増加、多様な町民ニーズに対応し、スポーツによる体力づくり、コミュニティ活動を促進するため、安全で快適なスポーツ施設の拡充整備を計画的に行うとともに、施設の有効活用、管理体制整備を図る。

平成22年度の主な取組

◆体育施設整備事業

- ・耐震診断に基づく、耐震補強、大規模改修工事の実施

町総合体育館耐震補強、改修工事(省エネルギー照明導入 託児室、スタジオ、シャワー室新設)

工事費 278,155,500 円 平成22年9月

- ・町野球場照明設備改修工事

工事費 27,105,750円 平成22年4月

- ・町武道館耐震診断・補強計画策定

委託費 1,648,500 円 平成22年12月

◆体育施設管理委託事業

施設管理の効率化、サービス向上を図るため、町体育施設の管理を指定管理者に委託(指定管理)。

- ・財団法人 内灘町公共施設等管理公社 指定管理

屋内温水プール、野球場、総合公園テニスコート 協定料 3施設 45,899,000 円

- ・NPO 法人 総合型地域スポーツクラブ プラッツうちなだ 指定管理

総合体育館、勤労者体育センター、向栗崎体育館、武道館、弓道場、鶴ヶ丘テニスコート、総合グラウンド

協定料 7施設 15,609,000 円

◆社会体育活動時の施設利用者数(22年度)

町体育施設利用者数

屋内温水プール	45,473 人
温水プール2階トレーニングルーム	15,416 人
野球場	8,942 人
県立自転車競技場	8,890 人
総合公園テニスコート	9,060 人
鶴ヶ丘テニスコート	11,042 人
武道館	23,946 人
弓道場	13,913 人
向栗崎体育館	18,684 人
勤労者体育センター	20,177 人
総合体育館	19,877 人
総合体育館2階スタジオ	1,541 人
総合グラウンド	15,974 人
町体育施設 計	212,935 人

学校体育施設開放事業 利用者数

体育館	向栗崎小学校	8876 人
	清湖小学校	11504 人
	鶴ヶ丘小学校	15393 人
	大根布小学校	7566 人
	西荒屋小学校	9473 人
	内灘中学校	9148 人
	向栗崎小学校	4394 人
グラウンド	清湖小学校	3018 人
	鶴ヶ丘小学校	5269 人
	大根布小学校	3224 人
	西荒屋小学校	1940 人
	内灘中学校	195 人
	中学校 相撲場	168 人
学校体育施設 計		80,168 人

◆体育施設使用料見直し検討委員会（委員 8名 平成22年中5回開催）

適正かつ公平な使用料、減免規定の設定について審議(平成23年度も継続審議)

評価

スポーツ施設の拡充整備は昭和49年から積極的に行われ、平成元年から小・中学校体育施設を町民の利用に開放したことで、スポーツ活動の場は大きく拡大した。

平成22年の総合体育館の耐震補強、改修にあたっては、女子、高齢者、障害者に配慮し誰もが安全に快適にスポーツを楽しむことができるよう整備され、同時に省エネルギー化も図られた。

また、平成18年に社会体育施設の指定管理が導入されて以来、施設の管理経費は年々縮減され、指定管理導入前に比し平成22年度の管理料は、12,167千円削減されている。

平成23年度から民間指定管理者による管理となっており、今後とも、町は適切な指定管理者指定、指導を行い、指定管理者による効率的、効果的な運営を図るとともに、より良いサービスの提供に努めていただきたい。

また、現行の体育施設使用料の大半は、昭和51年に設定後、変更されていないものが多く、施設の維持管理費に対する使用料収入の割合が低い。体育施設使用料見直しにあたっては、適正かつ公平で運用面にも配慮された使用料の設定に努めていただきたい。

③スポーツ交流施設の整備・充実（平成22年度重点目標(2)）

素朴で美しい自然の中で安全で快適にスポーツ・レクリエーションを行えるよう集会(交歓)、宿泊、憩いの場としてサイクリングターミナル施設の整備・充実、活用を図る。

平成22年度の主な取組

◆サイクリングターミナルの管理運営

・管理施設概要：浴場、宿泊施設、研修室、バーベキュー場、軽食堂、貸出し自転車

4月に屋外店舗を新設、土日、祝日に運営開始。(総合公園内海族館のリニューアルオープンに併せる)

・指定管理者：(財)内灘町公共施設等管理公社(H21.4～H22.10の軽食堂の指定管理は民間事業者)

協定料 6,673,000円

本館屋根補修 工事費 1,837,395円 平成22年5月

他、屋外店舗給排水設備工事、冷却水ポンプ取替、ボイラー修理

サイクリングターミナル利用者数

浴場利用者	18,699人
宿泊利用者	3,437人
研修室利用者	3,193人

バーベキュー場利用者	14,130人
軽食堂・屋外店舗利用者	17,755人
自転車利用者	395人

IV 学識経験者の知見の活用

平成23年度(平成22年度対象)の点検及び評価を行うにあたって、金沢大学地域連携推進センター浅野秀重教授より以下の指導及び助言を受けました。

金沢大学地域連携推進センター
教授 浅野秀重

教育委員会所管の実施事業について

I 学校教育

1 より良い学校づくりの推進

児童・生徒及び教職員が学習と教育の活動を展開する館(やかた)たる学校の教育環境の整備は、行政に求められる重要な施策の一つです。平成22年度の主な取り組みであった教育情報化事業による、清湖小学校や大根布小学校におけるICT環境の整備及びその利活用は、情報化が時代の趨勢となっている今日、教職員にとっても、また子どもたちにとっても意義あるものですが、その情報化の流れに対応し得ないといういわゆる「デジタルデバイド」という状況がないではありません。

情報を共有しながら誰もが気軽に利用でき、授業内容や授業方法の改善を図り、授業実践力の向上を図ることができるよう、教職員間で研修などの機会における実践の交流、教材(コンテンツ)の蓄積を進め、ライブラリー化に努めるとともに、子ども同士においても交流がなされるような環境の整備に今後とも取り組まれることを願っています。

また、より良い食習慣の形成に寄与する学校給食、幼児教育(保育)と小学校教育との円滑な接続に資する幼保小連携事業は引き続き実施されることが望ましいと思われれます。さらに、エコスクール活動は環境教育の取り組みとしてだけではなく、持続可能な発展教育(ESD)の一環でもあり、その成果のさらなる敷衍化を期待します。

町教育推進事業として取り組まれている各種補助金は、児童・生徒の芸術文化へ親しむ機会や各種大会への参加、体験活動に対する支援、教職員の資質や実践能力の向上への支援、さらに外国語活動等の推進等に寄与するものです。財政厳しい折ではありますが、これらの補助金は、あげて児童・生徒及び教職員の活動のための財政的な基盤となるものであり、引き続いての確保・支援を願っています。

学校評議員制度は、教育の機関としての学校の基本的な考えを住民に発信するとともに、住民の学校への期待等を共有し合うという、いわば学校と地域社会との連携という側面を有するものですので、今後とも効果的な運営を各学校に期待するものです。

なお、学校評議員制度の枠組みを超えた仕組みとして「学校運営協議会」の設置が、学校運営の選択肢の一つとして提起されています。国や県の動向等を見ながら、この制度に関する情報の収集や検討も今後求められることかと思われま

2 基礎学力の習得・充実

児童・生徒が生活習慣や学習の基礎基本を身につける上で、学習に向かう姿勢やきまりを守ることを理解することは、児童・生徒の「生きる力」を育む上で、基本的なことです。きめの細かい行き届いた教育活動を推進するため、低学年の学級を30人以下で編成することをめざし、町単独による人員（講師）を確保する試みは、積極的に評価されなければなりません。漸次的に中学年・高学年への導入についても検討を期待します。

英語教育については、教材のあり方、指導方法などについても工夫と改善を図り、子どもたちが英語に慣れ親しむ英語教育を推進し、国際化に対応しうる準備としての取り組みに努められるよう期待します。

また、図書貸し出し冊数が漸次的な増加傾向を示していることは喜ばしいことで、図書司書の皆さんの日常的な取り組みのたまものという思いがいたします。物的なホンの整備だけではなく、司書という「ヒト」の整備が、子どもたちの豊かな心育て、豊かな感性育てとなっているのではないかと思います。待遇の現状は寡聞にして知りませんが、今後とも改善に努めてくださるようお願い上げます。

発達障害や多動性障害など学習や行動面で特別な支援を必要とする児童・生徒、あるいは学校へ登校できない、学校生活になじめないなどの課題を抱える児童・生徒のために、特別支援教育支援員を配置したり、適応指導教室の開設や心の教育相談員を配置する取り組みは、今後とも強力に進めていただきたいと考えます。

新規にとりくまれた児童の「コミュニケーション能力の育成」事業は、児童が、かつて自分がそうであった幼児と向かい合う機会を提供するものであり、他校での取り組みへと拡がることを期待します。

3 就学前教育支援制度の充実

幼児教育の充実に対する就園奨励費補助や幼稚園への運営費補助などの予算措置も、現下の経済・社会状況からしても継続・充実を期待します。

II 社会教育・生涯学習

4 社会教育の充実

次代を担う青少年を健全に育てることは、彼らよりも先行して生きる大人の役割であるとともに使命でもあります。豊かな心を育む内灘町民会議を設置するとともに、委員会

制を取りながら人権教育，体験学習，学校家庭支援，情報通信教育に係る活動を推進しておられます。活動に工夫を加えながらの教室，講座，講演会等，地道で継続的な活動は，子どもたちに豊かな心を育てる上で重要な取り組みです。

また，国連で採択され，日本も批准したいいわゆる「子どもの権利条約」の，内灘町らしい条例案を策定するための検討委員会の検討成果を大いに期待いたします。

地域には，青少年のより良い育成に関心を寄せるNPOを含む様々な団体や機関さらには補導員などが存在しており，こうした団体や機関・個人が連携するとともに，必要に応じて行政とも協力・協働して青少年の育成に当たっていくことが求められます。

成人式や立志式は，国家・社会の形成者としての自分，内灘町の重要な構成員の一人である自分を見つめ直すとともに，人生における区切りを自覚していただく大事な学びの機会でもあるのでさらにその内容や方法について式典委員等とともにご検討いただきたいと思います。

併せて，凧の祭典，子ども凧遊び大会，砂丘フェスティバル，地域密着型となった町民夏まつりなど，内灘町ならではの各種イベントは，単なる一過性のイベントではなく，地域間交流，住民間交流，国際交流の促進など，コミュニティ形成に欠かせない「つながり」や「絆」育てとなるものです。内灘らしさを体験，発信，確認する大切な機会という認識で，今後とも内容や方法等の工夫拡充に取り組まれますようお願いしています。

5 生涯学習の振興

公民館は，一般に，「つどう，まなぶ，むすぶ」場といわれます。避難所として機能する際は，住民の命と暮らしを守る場ともなります。

内灘町の生涯学習・社会教育の振興において，町内に 17 館設置する公民館の活動は重要な役割を果たしています。地域コミュニティを構成する住民の「絆」「つながり」の希薄化が各種の調査等で指摘される中，きめの細かい公民館活動は，町民の地域への帰属意識を育てる上でないがしろにはできません。限られた職員，担当者での運営という困難さはあるかもしれませんが，地域の明日を創る「担い手」育て，地域住民のつながり形成に資する事業や講座の開設への取り組みを期待します。

各公民館におかれては，改めて，住民ニーズに適った学習や体験の機会の提供など，町民の生涯にわたる学習活動への支援が，活力ある内灘町を町民ぐるみで創っていくうえで，重要であることに鑑み，今後とも学びの雰囲気満ち溢れる活動を進めていただきたいと思います。

町内の社会教育関係団体への補助金等の交付，学びの風推進協議会の活動，はまなす大学や陶芸教室事業，働く女性の家事業，町民と外国人との交流事業等への支援，ボランティア活動の奨励など，今後も引き続き推進されることを願い上げます。

さて，蔵書によって飽和状態の図書館，職員集団の対応能力をはるかに超える貸し

出し冊数など町立図書館の将来方向を検討する必要性がきていると思われる状況があります。それは、利用者たる町民の利便性を図ることになると思われますので、検討のための組織の設置は喫緊の課題と思われます。

平成21年度から、教育委員会の所管事業となった男女共同参画事業ですが、男女共同参画行動計画の進捗状況の調査や各種啓発事業の実施など、息の長い取り組みを地道に進めて行くことが期待されます。

6 芸術文化の高揚

アカシアロマンチック祭、町美術展や総合文化祭など、町民が文化や芸術に関する機会に接したり、発表の機会を得ることは、町民の豊かな感性を育てたり、長きにわたって自己研鑽に励んできた成果や経験を活かす場を提供することにもなるので、さらなる支援や参加の奨励に努めてくださるようお願いしています。併せて、文化会館もその設置目的に沿う事業の実施にあたられますよう期待します。

また、町、そして全町民の共有の財産でもある指定文化財や、伝統文化・芸能の伝承、さらには砂丘地などは、町にとっての「良きもの」であり、その保全・継承・活用・広報に努められることを期待します。

歴史民俗資料館の運営体制の見直しによる館活動の今後を期待いたします。

7 生涯スポーツの振興

すべての町民が、生涯にわたり、自ら気軽にスポーツに親しみ、生きがいつくりや健康・体力づくりにつなげることができるような環境の整備は、大切な取り組みです。内灘町の地域スポーツは、総合型地域スポーツクラブ「プラッツうちなだ」を核に、同クラブが、体育協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員等と連携しながらスポーツ事業を推進しています。しかしながら、これまでのスポーツ振興は、行政主導で進められてきており、住民の中には、会員となって一定の会費を負担してまでスポーツに親しもうとはしない傾向が見えなくもありません。

会員数の伸び悩み、スポーツ人口の掘り起こしの困難性など、住民のスポーツに対する認識を転換するには、まだまだ時間を要せざるを得ない面があります。このため、行政としては、やや中長期的な視点をもってスポーツ振興を図らざるを得ないという側面があるかと存じますが、クラブへの支援やスポーツ振興上の課題の克服に協働して取り組まれますようお願いしています。

併せて、スポーツ施設の整備・充実についても積極的な取り組みを期待いたします。

教育委員会活動

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律上、およそ教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会であり、定例会や臨時会において決すべき議案も多岐にわたるものと思量します。

内灘町の教育活動のさらなる活性化、まちとしての内灘の魅力の掘り起こしや発信に資するような教育事業の展開にも大きな役割を発揮してくださるよう期待しています。

○評価を終えて

内灘町が推進しようとしている教育は、「教育基本法に基づき、それぞれの個性を認め合い公共の福祉を尊重するとともに、生涯を通じて真理を追究し平和を愛する心豊かな人間の育成と、郷土の歴史や自然に根ざした文化の創造を目指し、未来を切り開く教育」であるとされています。

周知のとおり、教育基本法第1条によれば、その教育は、国家・社会の形成者、すなわち担い手を育てる営みとすることができます。この担い手を育てるために、地方公共団体に置かれる行政委員会としての教育委員会は、よりよい教育活動や学習活動の推進のために様々な条件整備を推進することが主要な任務となっています。

こんにち、行政施策にいわゆるPDCAサイクルの考えが導入され、自己点検・自己評価の取り組みが進められています。このことは、地域住民に対する説明責任を果たすとともに、評価結果を新たな施策の推進に活かし、その利益を地域住民が享受できるような仕組みづくりに役立てることと思われまます。

当該事業や施策実施の必要性、緊急性、優先性、効率性、公平性、公益性など様々な視点に立って行われる自己点検・自己評価の取り組みは、内灘町総合計画が掲げる「人がいきいき まちが元気 個性が輝く魅力あるまち うちなだ」づくりに寄与するものと思われまますので、今後とも真摯な点検・評価活動が進められるよう期待いたします。

なお、ついでながら、教育委員会事務局がまとめられたこの「内灘町教育委員会の点検及び評価報告書」ですが、実施した事業の概要の記載とともに、前年度との比較で改善に努めた点、重点を置いたこと、さらには課題などを記すことは、事務局にとっても、事業の振り返りやメリハリのある事業展開に役立つのではないかと思われまますし、評価をさせていただく者にとっても、事務局サイドの思いを把握することができると思われまますので、今後ご検討いただけましたら幸いです。

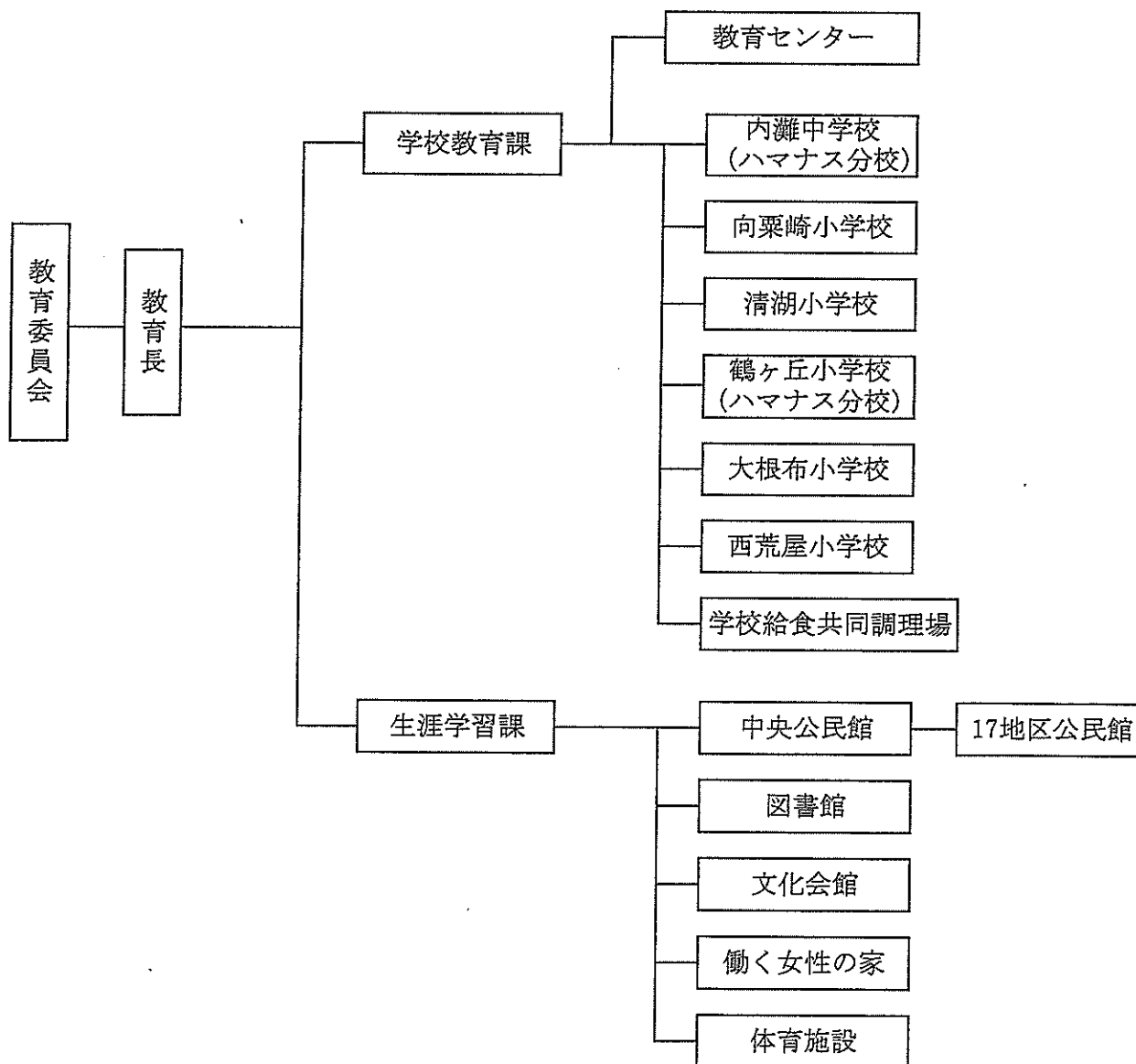
V その他資料

① 教育委員会委員

(平成23年10月1日現在)

委員区分	氏名	1期目の	今期の	
		就任年月日	就任年月日	満了年月日
委員長	村田 博子	16. 3. 19	21. 10. 1	25. 9. 30
委員長職務代理	田村 兼人	20. 10. 1	20. 10. 1	24. 9. 30
委員	小島 馨子	17. 10. 1	21. 10. 1	25. 9. 30
委員	菅原 綾子	22. 10. 1	22. 10. 1	26. 9. 30
教育長	西尾 雄次	19. 12. 22	19. 12. 22	23. 12. 21

② 教育委員会の組織



③ 教育委員会活動の概要

(1) 学校訪問（前期）

- ・平成22年5月18日（火）鶴ヶ丘小学校ハマナス分校・内灘中学校ハマナス分校
- ・平成22年5月19日（水）向粟崎小学校（B訪問）
- ・平成22年6月3日（木）内灘中学校（A訪問）
- ・平成22年6月15日（木）西荒屋小学校（A訪問）
- ・平成22年6月24日（木）大根布小学校（B訪問）
- ・平成22年6月29日（火）鶴ヶ丘小学校（A訪問）
- ・平成22年7月2日（水）清湖小学校（A訪問）

(2) 学校訪問（後期）

- ・平成22年10月7日（木）内灘中学校（B訪問）
- ・平成22年10月21日（木）鶴ヶ丘小学校（B訪問）
- ・平成22年10月26日（火）西荒屋小学校（B訪問）
- ・平成22年11月12日（金）清湖小学校（B訪問）
- ・平成22年11月16日（火）向粟崎小学校（A訪問）
- ・平成22年11月25日（木）大根布小学校（A訪問）

(3) 各種行事

平成22年4月1日	教職員辞令交付式
平成22年4月6日	内灘町立小・中学校入学式、ハマナス分校入学式
平成22年5月3～4日	世界の凧の祭典
平成22年5月6日	河北郡市教育委員会連合会定期総会
平成22年5月7日	石川縣市町教育委員会連合会定期総会
平成22年6月6日	町民体育祭
平成22年7月24日	町民夏まつり
平成22年9月27～28日	県外視察研修（東京都方面）
平成22年10月16日	町PTA大会
平成22年10月22日	石川縣市町教育委員会連合会研究大会（輪島市）
平成22年11月1日	いしかわ教育の日記念大会
平成22年11月3日	町表彰式
平成22年12月12日	内灘砂丘フェスティバル
平成23年1月9日	成人式
平成23年2月1日	立志式
平成23年3月11日	内灘町立内灘中学校卒業式
平成23年3月13日	ハマナス分校卒業式
平成23年3月18日	内灘町立小学校卒業式
平成23年3月29日	教職員離任式

④ 内灘町教育委員会開催状況

開催日	議案番号	審議決定事項
H22. 4. 23	報告第 5 号	平成 22 年度小中学校学級編成について
H22. 5. 27	議案第 5 号	平成 22 年 6 月議会補正予算 (案) について
	議案第 6 号	学校評議員会評議員の委嘱について
	議案第 7 号	内灘町屋内温水プール指定管理候補者選定委員会設置要綱について
	議案第 8 号	内灘町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
H22. 6. 21	議案第 9 号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
	報告第 6 号	内灘町青少年問題協議会委員の委嘱について
	報告第 7 号	学びの風推進協議会委員の委嘱について
	報告第 8 号	内灘町立図書館協議会委員の委嘱について
H22. 7. 20	議案第 10 号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
	議案第 11 号	平成 23 年度使用小学校用教科書図書採択について
H22. 8. 30	議案第 12 号	平成 22 年 9 月議会補正予算 (案) について
	議案第 13 号	内灘町立図書館協議会に関する条例の一部を改正する条例について
	議案第 14 号	内灘町体育施設条例の一部を改正する条例について
	議案第 15 号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
H22. 9. 22	議案第 16 号	内灘町民文化活動賞の推薦について
H22. 10. 1	議案第 17 号	内灘町教育委員会組織について
H22. 10. 19	議案第 17 号	内灘町青少年学術文化奨励賞の推薦について
	議案第 18 号	内灘町スポーツ賞の推薦について
	議案第 19 号	内灘町社会教育優良団体及び功労者感謝状受賞者の決定について
	議案第 20 号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
H22. 11. 30	議案第 21 号	平成 22 年 12 月議会補正予算 (案) について
	報告第 9 号	内灘町サイクリングターミナル軽食堂施設の指定管理について
H22. 12. 21	報告第 10 号	平成 22 年 12 月議会補正予算 (追加分) について
H23. 1. 20	議案第 1 号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
	報告第 1 号	内灘町体育施設 (屋内温水プール) の指定管理者の指定について
	報告第 2 号	平成 22 年度内灘町教育センター事業について
H23. 2. 21	議案第 2 号	平成 23 年 3 月議会補正予算 (案) について
	議案第 3 号	平成 23 年度当初予算 (案) について
	議案第 4 号	内灘町学校給食共同調理場運営委員会規則の一部を改正する規則について
	議案第 5 号	内灘町学校給食費徴収規則について
	議案第 6 号	内灘町歴史民俗資料館等利用料金条例の一部を改正する条例について
	議案第 7 号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
H23. 3. 22	議案第 8 号	平成 23 年度内灘町教育基本方針について
	議案第 9 号	内灘町地区公民館長の任命について
	諮問第 1 号	文化財の指定につき意見を求めることについて

⑤ 平成22年度学級編成表

(H22.5.1現在)

	学 年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特学	計
	向粟崎小	児童数	57	59	68	64	74	87	6
	標準学級数	2	2	2	2	2	3	2	15
	実施学級数	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	15
	学 年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特学	計
	清湖小	児童数	54	54	67	43	51	51	3
	標準学級数	2	2	2	2	2	2	1	13
	実施学級数	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	13
	学 年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特学	計
	鶴ヶ丘小	児童数	62	58	68	62	68	83	2
	標準学級数	2	2	2	2	2	3	1	14
	実施学級数	○ 3	〃	〃	〃	〃	〃	〃	15
	学 年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特学	計
	大根布小	児童数	98	86	81	84	92	81	5
	標準学級数	3	3	3	3	3	3	2	20
	実施学級数	○ 4	〃	〃	〃	〃	〃	〃	21
	学 年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特学	計
	西荒屋小	児童数	19	10	17	14	15	12	0
	標準学級数	1	1	1	1	1	1	0	6
	実施学級数	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	6
	学 年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特学	計
	小学校計	児童数	290	267	301	267	300	314	16
	標準学級数	10	10	10	10	12	10	6	68
	実施学級数	12	〃	〃	〃	〃	〃	〃	70

	学 年	1年生	2年生	3年生				特学	計
	内灘中	生徒数	282	293	291				4
	標準学級数	8	8	8				3	27
	実施学級数	〃	〃	〃				〃	27

小学校低学年(1・2年生)の標準学級数 国:40人、石川県:35人、内灘町:30人

○:町負担講師配置、☆:県費負担講師配置

⑥ 平成22年度 生涯学習課事業一覧

期 日	大会・事業名	会 場	主催及び共催
4月7日	連合女性会総会	町民ホール	町連合女性会
4月8日	こども会総会	町役場庁舎	町子ども会連絡協議会
4月11日	スポーツ少年団合同開講式	町総合体育館	スポーツ少年団
4月14日	文化協会総会	町民ホール	町文化協会
4月15日	体育協会総会	町福祉センター	町体育協会
4月16日	公民館協議会総会	KKR	町公民館協議会
4月18日	第8回ジャズフェスティバルin内灘	町文化会館	ジャズフェスティバルin内灘実行委員会
4月22日	町女性団体連絡協議会総会	町役場庁舎	町女性団体連絡協議会
4月24日	壮年会協議会総会	町文化会館	町壮年会協議会
5月3日	第22回世界の凧の祭典 (レセプション)	内灘海水浴場特設会場	世界の凧の祭典実行委員会
5月4日	第22回世界の凧の祭典	内灘海水浴場特設会場	世界の凧の祭典実行委員会
5月8日	子ども読書の日記念行事	町文化会館	図書館
5月11日	スポーツクラブブラッツうちなだ総会	町民ホール	NPO法人 スポーツクラブブラッツうちなだ
5月14日	はまなす大学開講式	町文化会館	町教育委員会
5月16日	第26回アカシアジョギング大会	町役場周辺	県身体障害者団体連合会等
5月16日	第12回アカシアロマンチック祭	林帯遊歩道・恐竜公園	町文化協会・町教育委員会
5月16日	第37回加賀地区少年柔道大会	町総合体育館	町柔道連盟
5月23日	チビッ子スポーツ教室開講式	向栗崎運動公園・体育館	教育委員会・体育指導委員会
5月23日	町読書会連絡協議会総会	町文化会館	町読書会連絡協議会
5月23日	文学講演会	町文化会館	町読書会連絡協議会
5月26日	社会体育推進会議	ロビンスクラブ	町体育協会・町教育委員会
5月27日	PTA連合会委員会	町文化会館	町PTA連合会
5月29日	子ども会リーダー研修	サイクリングターミナル	町子ども会連絡協議会
5月29日	子ども会指導者・安全会研修	サイクリングターミナル	町子ども会連絡協議会
6月6日	第56回町民体育祭	町総合グラウンド	内灘町
6月11日	学校図書館・町図書館連絡会	町文化会館	図書館
6月13日	第27回町総合体育大会	町内体育施設	内灘町
6月19日	第6回ライトダウンキャンペーン	サンセットブリッジ内灘	町連合女性会・壮年会協議会
6月26日	公民館長・主事研修	岐阜県	公民館協議会
6月26日	北陸地区体育指導委員研修会(～27日)	富山県	全国体育指導委員連合
6月26日	内灘サイクルフェスティバル	石川県自転車競技場	町教育委員会
6月27日	第28回内灘サイクルロードレース	河北潟干拓地	県自転車競技連盟
6月29日	児童生徒オーケストラ鑑賞	町文化会館	県・町教育委員会

期 日	大 会 ・ 事 業 名	会 場	主 催 及 び 共 催
7月3日	ビーチベースボール大会(～4日)	内灘海水浴場	内灘町・北国新聞社・日本ビーチベースボール連盟
7月4日	内灘和太鼓どんどこ祭	町文化会館	内灘和太鼓協会・豊かな心を育む内灘町民会議
7月16日	第1回図書館協議会	町文化会館	図書館
7月17日	チビスポ教室一泊研修(～18日)	サイクリングターミナル	体育指導委員会・教育委員会
7月24日	第34回内灘町民夏まつり	町総合グラウンド他	内灘町民夏まつり実行委員会
7月30日	県民体育大会壮行会	町民ホール	内灘町・町体育協会
7月31日	羽幌町姉妹都市交流(～3日)	町内	町教育委員会
8月7日	第62回石川県民体育大会(～8日)	小松市主会場	県体育協会・石川県
8月18日	第2回図書館協議会(視察研修)	福井県	図書館
8月22日	ジャパント(～25日)	町内各施設	町教育委員会
8月22日	第29回町子ども大会	清湖小学校体育館	内子連・子ども委員会
8月28日	連合女性会国内研修(～29日)	長野県	連合女性会
9月5日	体力測定	勤労者体育センター	町教育委員会
9月11日	加賀地区女性県政会議	能美市	石川県婦人団体連絡協議会
9月12日	町読書会連絡協議会文学散歩	小松市	町読書会連絡協議会
9月18日	第22回ツール・ド・のと400(～20日)	能登半島一周コース	ツール・ド・のと400実行委員会
9月27日	秋の交通安全運動女団連マスコット配り		町女団連
10月2日	YOSAKOIソーラン日本海	コンフォモール前	YOSAKOIソーラン日本海組織委員会
10月9日	第15回内灘町子ども凧遊び大会	町総合体育館	子ども凧遊び大会実行委員会
10月11日	スポーツフェスティバル	町総合体育館	ブラッツうちなだ
10月14日	全国公民館研究集会(～15日)	石川県音楽堂	全国公民館連合会
10月16日	町PTA大会	町民ホール	町PTA連合会
10月21日	第41回東海北陸社会教育研究大会(～22日)	福井県	東海北陸社会教育委員協議会
10月24日	チビスポ教室親子バス遠足	富山県	体育指導委員会・教育委員会
10月24日	地区公民館文化祭	地区公民館	地区公民館
10月30日	地区公民館文化祭	地区公民館	地区公民館
10月31日	地区公民館文化祭	地区公民館	地区公民館
11月3日	地区公民館文化祭	地区公民館	地区公民館
11月3日	町表彰式	町文化会館	内灘町
11月3日	町スポーツ賞表彰式	町文化会館	町教育委員会
11月3日	町文化活動賞表彰式	町文化会館	町教育委員会
11月6日	町美術展・ジュニア美術展(～12日)	町役場庁舎	町教育委員会・文化協会
11月6日	第35回町総合文化祭(～7日)	町文化会館	町文化協会・町教育委員会
11月7日	ブックリサイクル(町総合文化祭)	町文化会館	図書館
11月10日	家庭教育講演会	内灘中学校	豊かな心を育む内灘町民会議・内灘中PTA
11月18日	全国体育指導委員研究協議会(～19日)	岐阜県	全国体育指導委員連合
11月21日	読書会連絡協議会合同読書会	町文化会館	町読書会連絡協議会
11月23日	河北潟一周駅伝競走大会	河北郡一円	郡市陸上競技協会
11月28日	県市町対抗ふるさと駅伝	加賀温泉郷	県市町対抗ふるさと駅伝実行委員会
11月28日	町民環境フォーラム	町民ホール	町民環境フォーラム実行委員会

期 日	大会・事業名	会 場	主催及び共催
12月4日	第29回県女性意見発表大会	県女性センター	県婦人団体連絡協議会
12月11日	クリスマスお話し会	図書館	図書館・おはなし会「がらがらどん」
12月12日	内灘町社会教育功労者表彰	町文化会館	町教育委員会・公民館協議会
12月12日	第13回内灘砂丘フェスティバル	町文化会館	内灘砂丘フェスティバル実行委員会
1月9日	成人式	町文化会館	内灘町
1月23日	スポーツ少年団交流会	町総合体育館	町スポーツ少年団
1月25日	蔵書点検(～28日)	図書館	図書館
1月29日	内灘スピーチフェスティバル	町民ホール	Switch うちなだ・町教育委員会
2月1日	立志式	町文化会館	町教育委員会
2月3日	石川県公民館長研修	青少年総合研修センター	県公民館連合会
2月11日	チビスポスキー泊研修(～12日)	一里野温泉スキー場	町体育指導委員会
2月19日	第63回石川県民体育大会冬季大会	白山市	県体育協会・石川県
2月20日	親子人形劇鑑賞会	町民ホール	豊かな心を育む内灘町民会議
2月20日	読書会連絡協議会合同読書会	町文化会館	町読書会連絡協議会
3月5日	スポーツ少年団リーダー研修(～6日)	サイクリングターミナル	町スポーツ少年団

平成23年度（平成22年度対象）
内灘町教育委員会点検・評価報告書

発行 平成23年12月

編集 内灘町教育委員会

〒920-0292

石川県河北郡内灘町大学1丁目2-1

TEL 076-286-6717（直通）

FAX 076-286-6714

URL <http://www.town.uchinada.lg.jp/>